

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像  
 人権意識を高く持ち、特別支援教育を通して、自己肯定感や他者への思いやりのある児童生徒の育成

堺市立 泉北高倉小学校

校長 川上 寛

令和7年度 重点目標  
 (1)自分も他者も大切にす心の教育の推進 (2)習得, 活用, 探求を工夫した深い学びの充実  
 (3)人権教育・障がい者理解を基盤とした個に応じた指導の充実 (4)学校群を核とした特別支援教育の推進

**確かな学びの現状**  
 児童は課題に対し真摯に取り組み、学習したことを理解し活かそうとする姿が見える。一方で、各種調査結果では「相手意識をもつて伝え合うこと」「自分と違う意見について考えることは楽しい」に課題がみられる。学びの質をさらに高め、表面的な理解から本質的な深い学びへと発展させるためには、場面に応じたコミュニケーション形態(ペア・グループ・全体)を活用し、児童が主体的に参加できる対話的な学習活動が必要である。特に、「必然性のある対話」を通じて、他者の視点から自らの考えが再構築できる、よりよい経験の積み重ねである。こうした経験は、学力向上だけでなく将来社会で必要とされる協働性や創造性の基盤を形成するものであり、学校全体での実践と研究が求められる。

**豊かな心・健やかな体の現状**  
 本校の児童は全体的に明るく素直で活動的であり、友だちにも優しく、困っている人を助けようとする姿も多く見られるようになっている。しかし、自尊感情や他者とのよりよい関係づくりに課題が見られる児童も少なくない。そのため、人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人権感覚の育成を図ることが求められる。一方、児童の体力向上にも継続した取り組みが必要である。生涯にわたり健康に過ごす身体づくりのためにも、体育的行事などの学校教育活動全体をとおり、体を動かすことを親しみ楽しむ機会を設け、基礎体力向上の取り組みを推進していく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (9月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	事実的な知識の習得と知識の概念的 理解の育成	知識・技能の習得・育成のため、児童の理解と進度に応じた学習課題の提示	平均正答率が全国、本市より上回る。	全国学力・学習状況調査 堺市学習・生活状況調査 学年テスト	年度末				
			家庭で行うリモート学習の習慣化	宿題等の家庭学習をリモートで月1回以上行う	実施状況					
	授業改善	相互の多様な視点や考えを尊重した、 協働的な学びによる授業づくり	●考えたり判断したりしたことを、相手意識をもち、わかりやすく伝え合い、聴き合う授業づくり	「国語・算数の勉強はすきですか」肯定回答率80%以上	学校教育自己診断					
前単元でわかったりできたりしたことをふりかえり、生かすことができる学習課題の提示			「国語・算数の授業はわかりやすい」肯定回答率85%以上							
考えたことをまとめたり、学習のふりかえり書いたりする十分な時間の確保			「授業でわかったことや気づいたことをノートにまとめた」肯定回答率80%以上							
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	多様な理解と自他の尊重に基づく、 豊かな人権感覚の育成	●学校教育全体を通じて、豊かな人権感覚を醸成するための授業づくりおよび授業改善	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思うか」肯定回答率90%以上	学校教育自己診断	年度末				
			自他ともに尊重できる心情の涵養を図れるよう、係、委員会活動、縦割り活動など、互いのよさを認め合える活動の実施	「人の役に立つ人間になりたいと思う」肯定回答率が90%以上						
	体力向上	児童の身体活動への自発的参加意欲の育成	●安心して暮らせる環境づくりで未然防止に取り組む。年3回以上の「いじめアンケート」を実施するとともにSC、SSWを活用した迅速な対応	「先生は、いじめなどわたしたちが困っていることに対応してくれる」肯定回答率100%	学校教育自己診断	毎学期 必要に応じて行う				
体育の授業に加え、体育的行事等とおした運動意欲の向上(スポーツテスト、かけ足記録会)			「外で遊んだり運動したりなど、体を動かすことが好きだ」肯定回答率80%以上							
地域協働	信頼される学校	家庭、地域、中学校区との連携を通じた、 協働性に基づく信頼関係の醸成	学校ホームページや校報、ほけんだより、生指だより等を活用し、本校および中学校区の教育活動の現状と成果等の発信	「子どもの様子を、ホームページや学年通信などで知ることができる」肯定回答率90%以上	学校教育自己診断	年度末				
			★特別支援教育を軸にした教育活動の推進する学校群連携	「保護者や地域の人々と話をする機会を適切に設けている」肯定回答率80%以上						

校長より(年度末) \_\_\_\_\_ 学校関係者評価者から(年度末) \_\_\_\_\_